

# 景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

## 1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

## 2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

## 3 調査期間

平成27年2月2日(月)~13日(金)

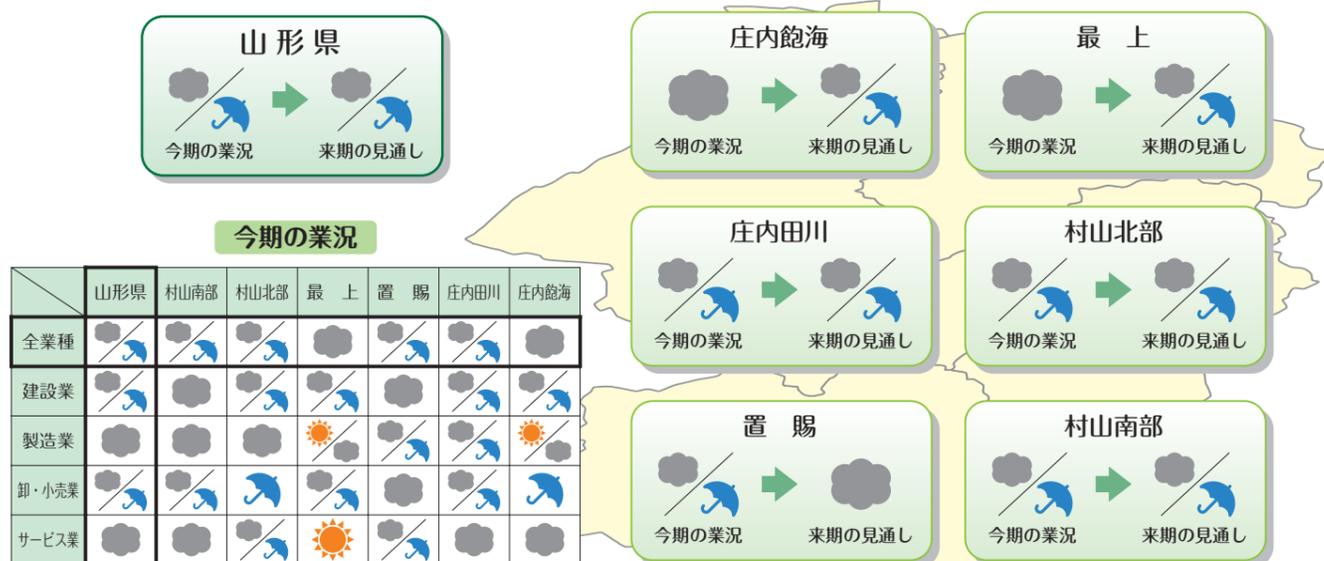
## 4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形719社、秋田651社  
有効回答数 山形448社、秋田433社  
回答率 山形62.3%、秋田66.5%

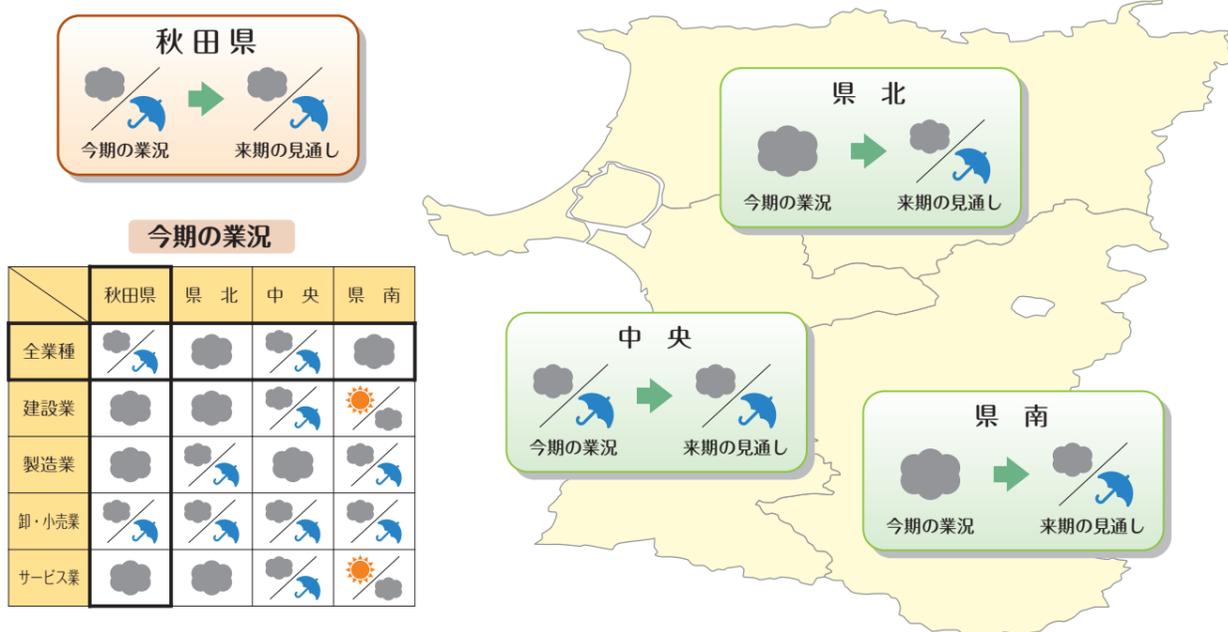
特に好調 DI≥30	好調 30>DI≥10	まあまあ 10>DI≥0	不振 0>DI≥-10	きわめて不振 DI<-10

## ▶景気天気図

第42回「山形県内企業の景気動向調査」



第15回「秋田県内企業の景気動向調査」



## ▶自社業況の動向

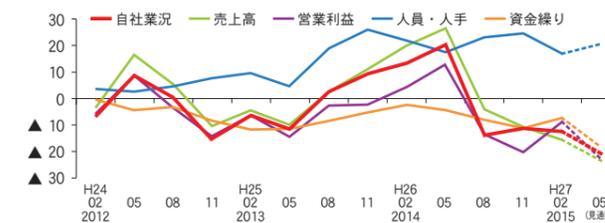
山形県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲11.1(前回調査比9.1ポイント下落)と3期連続で悪化し、DI値のマイナス幅が拡大した。「各種DI値(前年同期比)」でも、すべての項目で悪化となっている。中でも「売上高」の悪化幅が大きく、要因として消費税増税による消費の低迷などが考えられる。

秋田県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲12.2(前回調査比1.0ポイント下落)と小幅ながら悪化した。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「売上高」が3期連続で悪化している。当期は国文祭が開催され交流人口が増加したほか、ガソリン価格の下落などプラス要因もあったが、全体としては業況の改善には至らず停滞が続いた。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

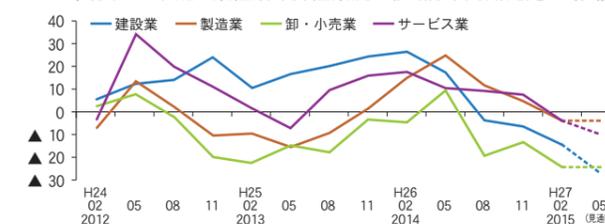


## ▶業種別の動向

山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、すべての業種で大幅に悪化した。中でも製造業では6期ぶり、サービス業では7期ぶりに、いずれもDI値がマイナスに転じた。悪化要因として、円安傾向による輸入原材料価格の上昇、消費税増税等による消費の低迷や受注減少などが考えられる。

秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、卸・小売業とサービス業が大きく改善した一方、建設業と製造業は大幅な悪化となった。建設業は昨年8月調査以降悪化傾向にあり、12期ぶりにDI値がマイナスに転じた。この背景として、消費税増税後の住宅着工戸数の落ち込みや、足元の公共工事の減少が挙げられる。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



## ▶地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、最上を除く5地域で悪化した。中でも、村山北部・置賜・庄内田川で悪化幅が大きく、3地域のいずれもDI値がマイナスに転じた。

秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、県南が小幅ながら改善した一方、中央はほぼ横ばい、県北では悪化となり、いずれの地域でも3期連続でDI値がマイナスとなった。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

